

コミュニケーションテストOPICのご紹介

～ Oral Proficiency Interview – computer ～

2017年7月15日(土)
一般社団法人GLOBAL8

会長 八木 智裕

<http://global8.or.jp>

1. O P I c (Oral Proficiency Interview - computer) とは

ACTFL (American Council on the Teaching of Foreign Languages) が開発した対面インタビュー形式の語学テストOPIをベースにしたiBT (internet based test)形式のテストでLTI (Language Testing International) ライセンスのもと、全世界で販売

- LTIは4技能提供: LPT/RPT/WPT/OPI・OPIc

英語によるコミュニケーションで、課題意識の高いスピーキング力を測定するグローバル標準の英語スピーキングテスト

世界100カ国以上で導入され、現在までに約150万人を超える人が受験



2. OPIC 日本語テストの概要

対象言語	日本語
テスト時間	約60分（オリエンテーション20分、テスト最大40分）
出題内容	Background Surveyを通じて個人に合わせた問題を出題 例えば、職業、レジャー、趣味、関心事、スポーツ、旅行などのトピック
評価基準	ACTFL Speaking Guidelines 2012基準 OPIC level 1～7（Novice Low～ Advanced Low）
問題数	12～15問（個人によって異なる）
テストの特徴	<ul style="list-style-type: none">● 「様々な方法で「話せる」状況を実現」● 実践的なスピーキング力を測る評価項目● 高い利便性
評価要素	<ul style="list-style-type: none">● Function/ Global Tasks(コミュニケーション継続能力)● Text Type(文章構成力)● Contents/ Context(状況に応じた表現力)● Comprehensibility(質問意図の把握能力)● Language Control(文法・語彙・流暢さ・発音) →一つの評価領域に偏らず、受験者の会話を総合的に評価

iBT方式で大規模受験が可能

- 同時に多人数の受験可能(PC台数/LANのキャパシティを踏まえて)
- 迅速な結果確認が可能
(テスト結果は5営業日後の13:00以降に確定)

テスト受験時の厳密な個人認証

OPIc iBT SYSTEM (テスト運用)

- OPIc テストシステムにアクセス
- テスト実施 (40分)
- 回答送信 (音声ファイル)



ACTFL Rating SYSTEM

- ACTFL 認証 Raterと少数の認可者以外はアクセス不可
- ACTFL評価手順によるrating



正確で迅速な結果確認が可能なシステム

テストの流れ

オリエンテーション

① Background Survey



職業、関心分野、
レジャー、趣味など
自分に関連ある
選択肢を選ぶ

- 個人に関するアンケートの結果から、関連する問題を出題
- テストに対する安心感、発話量を確保

② Self Assessment



スピーキング能力に関
する説明と回答サンプ
ルから、自分のレベル
を自己診断する

- 自己診断の結果から、問題のレベルを決定
- レベルによって問題の難易度が異なる

受験者のレベル、
関心分野に基づいて
12~15問が出題

ある場所、人、
物事に関する出題

仕事や周辺活動に
関する出題

過去の経験、
仕事などに関する出題

質問を作成する出題

テスト



- ✓ 問題聴取 2回
- ✓ 問題毎の回答時間制限はない

途中、難易度の再調整



■ 従来のテストに無い「つながる」工夫

■ 学習空間に寄り添う、柔軟なテスト機会提供によりプリーポスト評価による授業(留学)効果の測定

■ ACTFLによる学校履修目安とUS政府が定める職務基準の関係

■ 比較のための可視化結果公開でなく、授業・留学の最適化に向けた事例公開

■ 学内での継続的「つながり」事例

■ 2-6-2の格差教育→キャズム理論的に各層評価・教育を行い全体の底上げ

■ 科研適用研究を軸とした「つながり」一覧

■ アメリカ留学に「つなげる」のみならず「つないだ先」を見る

■ 英語に留まらない「つながり」

● 再挑戦への意欲継続(ポスト時のアンケート結果: JELES47で紹介

(<http://global8.or.jp/JELES47.pdf> p20)

事後アンケート質問内容	分布比率
問3. 後日、OPIcテストの再受験を希望しますか?	
() ぜひまた受験したい	41.0
() 機会があれば受験してもよい	52.6
() 受験したくない	6.4

● 高校—大学—大学院—企業 各セグメント・目的に特化しない シームレスに「つながる」 コミュニケーションテスト

事前自己分析(現状と目標)ーテスト結果との関係

		現状の評価(自己評価)						
		Novice Low	Novice Mid	Novice High	Intermediate Low	Intermediate Mid	Intermediate High	Advanced Low
今後獲得したい評価	Advanced Low			4	1	2		2
	Intermediate High		2	3	11	3	1①8	
	Intermediate Mid		1	3	1	⑬⑱⑰		
	Intermediate Low				⑫⑨③			
	Novice High			④①				
	Novice Mid		1					
	Novice Low							

事前自己分析(現状と目標): 黒字(n=32、無効1)
 プリテスト結果: 青字(n=有効の29限定)
 ポストテスト結果: 紫字(n=29)
 ポストテスト後の今後の目標: 赤字(n=31、ポストのみの2名含む)

● プリーポストテスト結果と自己認識の変遷レポート(サンプル)

千葉大学H28年度ツインクルプログラム評価の場合

- 延べ受験人数:108名
- フリーポスト完了者:42名
- 受験実施回数:11日13回
- 1回開催当たりの受験者数:8.3人

主な分散実施の理由

- 留学パターンが2つあり加えて複数学部から参加者が集うため画一的な時期設定困難

長短比較

- 学生の都合に寄り添うことにより参加率を上げると共に、フリーポスト完結により効果把握が出来た(当初から複数回開催を覚悟していたので、インフルエンザ等による欠試者対策にはなった)
- ポスト時のオリエンテーション・監督負担は少ないものの、物理的立会いは必要であり寄り添う負担は大きい

3 - 3 . ACTFLによる学校履修目安とUS政府が定める職務基準の関係

レベル名称	今回実証適用値	言語能力	米国での職務ガイド	修得対象	FSI到達ガイド
Advanced Low(AL)	C1:AH, C2:S B2 9	自分の考えや経験を流暢に表現できる。討論や交渉、説得など実際の業務で駆使することができる。	・ Customer Service Agent, Social Worker, Claims Processor, K-12 Language Teacher, Police Officer, Maintenance Administrator, Billing Clerk, Legal Secretary, Legal Receptionist	・ Undergraduate language majors with year-long study abroad experience	1320h
Intermediate High(IH)	8	文法的に大きな間違いが無く言語を駆使し、基本的なビジネスや会議でコミュニケーションができる。	・ Auto Inspector, Aviation Personnel, Missionary, Tour guide	・ Undergraduate language majors without year-long study abroad experience	
Intermediate Mid(IM3~IM1)	B1 7 6 5	小さな文法的ミスはあるものの、長いセンテンスを駆使し、基本的なコミュニケーションができる。 ※IM3(上)、IM2(中)、IM1(下)に細分化	・ Cashier, Sales clerk (highly predictable contexts)	・ L2 learners after 6-8 year sequences of study (AP, etc.) ・ 4-6 semester college sequence	
Intermediate Low(IL)	A2 4	日常的な話題はセンテンスで話すことができる。会話に参加し、興味のある話題は自信を持って話すことができる。	・ Receptionist, Housekeeping Staff	・ L2 learners after 4 year high school sequence or 2 semester college sequence	480h
Novice High(NH)	A1 3	簡単な単語や句を駆使してコミュニケーションができる。		・ L2 learners after 2 years of high school language study	
Novice Mid(NM)	2	既に暗記している単語やセンテンスで話すことができる。			
Novice Low(NL)	1	限定的ではあるが、単語を羅列して話すことができる。			

3-4. 比較のための可視化結果公開でなく、授業・留学の最適化に向けた事例公開

● JELES46ポスターp7(<http://www.decode.waseda.ac.jp/announcement/documents-for-2016-03-12-13/TomohiroYagi.pdf>)で発表

No	サイト	クラス	n	プリM	SD	ポストM	SD	効果量	UP/DN率	AL人数	実用比率	到達比率	備考
1	東京大学	工学部Mスカイプ	20	6.8	1.54	7.5	1	0.42	65	1	70	100	RISTEX検証対象
2	青山学院大学	経済学部ゼミ生	30	5.8	1.58	6.2	1.71	0.25	20		36.7	60	
		3年次	19	5.6	1.84	5.9	1.87	0.16	36.8		36.8	63.2	
		同上卒業前	19	5.9	1.87	6.2	1.89	0.16	21.1	2	31.6	73.7	
		新3年生	24	5	1.57					2	8.3	45.8	襷は繋がるか?
3	関西大学	KU-COIL	13	4.8	1.36	5.2	1.09	0.29	46.2		7.7	76.9	
4			20	4.7	1.23	4.9	1.02	0.16	25		5	70	
5			13	4	1.15	4.6	1.12	0.54	61.5			53.8	科研費
6			99	3.9	1.09	4.1	1.04	0.22	24.2		2	26.3	
7			8	3.8	0.46	4.1	0.64	0.65	37.5			25	プリ19名
8			14	3.8	0.58	3.9	0.86	0.17	7.1			21.4	
9			19	3.8	1.08	3.8	1.26	0.00	5.3			31.6	
10			16	3.6	1.26	3.8	1.33	0.16	18.8		6.3	12.5	科研費
11	実践女子大学短期大学部	教材統制スカイプ	23	3.4	1.08	3.7	0.83	0.28	21.7			17.4	
12	実践女子大学短期大学部	一般スカイプ	19	3.1	0.85	3.3	0.82	0.24	26.3			5.3	
13	実践女子大学短期大学部	海外短期留学	20	3	0.82	3.7	0.75	0.85	40			10.0	
14	西九州大学	留学準備短期合宿	29	2.5	0.63	3.1	0.75	0.87	55.2			0	
15	関東国際高校	1年生ハワイ	20	3.0	0.83			#VALUE!					
16	某中校一貫校	中学3年生	69	2.8	0.71	3.4	0.76	0.85	59.4				オーストラリア修学旅行の中間層半分のホステスト
			494										
cf	高校3年生26年度調査		16,583	1.94									

平均、偏差、効果量、UP/DN率等の可視データ総括(JELES46発表引用)

- 高校—大学—留学—就職の「つなぎ」視点で見ると・・
- 大学進学者は文部科学省調査対象高校3年測定者の上位層
- **スピーキングテストOPICを試行するクラスは更に上位層**
 - ・ 大学を偏差値で比較しがちだが、そこで認められるほどの差異は無いし、今回の評価は比較論を展開目的としていない
 - ・ **クラス適用故、大規模評価が困難。得た知見の相互有効活用が重要と考える。**
- **ACTFLが設定するL2の大学卒業要件到達には更なる努力が必要**
- **企業が求める実用レベル(サムスンはIH以上)には、産学連携した努力が必要**
 - ・ サムスはOPICの7年に渡る適用の結果、入社基準(文系IM以上<ACTFL通り>、理系IL以上)

3-5. 学内での継続的「つながり」事例（同志社女子大学）

年 度	2015	2016	2017	
学 会	2015 L E T 全国大会で出会い	2016 L E T 全国大会共同発表	2017 JASELE 全国大会発表	—
社会へのつながり	—	—	—	SP 4年生対象 学内研究 プロジェクト
ゼミ内のつながり	3年生若本ゼミ生 中心に試行	科研採択1年目 2ゼミ対象実施	科研採択1年目 2ゼミ対象実施	—
高校からのつながり	—	1年生希望者 対象に有償実施	←	
受験延べ人数	43	98	200+	
効果分析有効対象者数	20	29	ゼミ内	S P
前ステップからの平均	4.7	4.4	4.4	4.4
次への平均	4.9	4.8	—	—
効果量	0.18	0.46	—	—
特記事項	—	—	—	A L 2名

2-6-2の上位者を選抜し、教育効率を上げるモデルでICTでダイナミックにつながる現代の語学教育は機能するか？又、少子高齢化の時代、限られた高等教育受講者がグローバルコミュニケーションから背を向けたまま卒業して良いのか？

コミュニケーションレベル(Can-Do)開示と現状明示により各自の努力を促す
その際、クラス全体の底上げに向け、マーケティングのキャズム理論(普及率16%の理論)同様のポイント設定と育成指導、加えてLine等の情報シェアを促す仕組みは効果的と考える。

- 上記仮説に興味のある先生、RQと一緒に頂けるならご支援させていただきます。

- 英語発信技能評価システムの構築とその応用研究 **済** (25370644 長崎県立大学 上村)
- ウェブ会議を取り入れた発信型の指導が英語スピーキング力に与える影響 **完了**
(26370675 法政大学 飯野)
- 大学英語教育におけるスピーキングテストの比較:指導法及び学習者要因とのモデル構築 **完了**
(26370738 聖心女子大学→ICU 藤井、共同研究:津田塾大学 稲垣)
- 英語スピーキング能力を伸ばす授業法:その指導法と成果の可視化に関する実証的研究 **最終年**
(15K02681 愛媛大学 長崎)
- 日本人英語学習者へのオンライン会話活動導入に向けたガイドライン策定 **最終年**
(15K02735 サイバー大学 坂本)
- 英語オーラルコミュニケーション能力伸長の可能性-語彙学習方略と反転授業に着目して **2年目**
(16K04721 同志社女子大学 若本)
- 多読・多聴・多話活動が理系学生のスピーキング力に与える影響の実証的研究 **2年目**
(16K02867 摂南大学 松田)
- 今年採択複数件(日本語OPIcも開始) **累計10件突破!**

3 - 8. アメリカ留学に「つなげる」のみならず「つないだ先」を見る

- ACE(American Council on Education) The American Council on Education is the major coordinating body for all the nation's higher education institutions. It seeks to provide leadership and a unifying voice on key higher education issues and to influence public policy through advocacy, research, and program initiatives. For more than 30 years, colleges and universities have trusted ACE CREDIT to provide reliable course equivalency information to facilitate their decisions to award academic credit. For more information, visit the ACE CREDIT website at <http://www.acenet.edu/acecredit> .

**Summary of Credit Recommendations
for Official ACTFL Ratings**

Official ACTFL Rating	Official OPI/OPIC	Official WPT (no service in Japan)
Novice High/ Intermediate Low	3 LD*	3 LD
Intermediate Mid	6 LD	6 LD
Intermediate High/ Advanced Low	6 LD + 1 UD**	6 LD + 1 UD
Advanced Mid	6 LD + 3 UD	6 LD + 3 UD
Advanced High/ Superior	6 LD + 8 UD	6 LD + 8 UD

*LD-Lower Division Credit **UD-Upper Division Credit

Please refer to the site below for a full list of colleges that accept ACE credit.

<http://www2.acenet.edu/crm/cup/?sortBy=name&keyword=state&location=&priorlearningoption=>

	英 語	ロシア語	日本語	その他
OPI	実施済	実施済	実施可能	実施可能
OPIc	実施済	実施不可	実施済	実施不可

- OPIを使った上位スキルへの研鑽意欲継続のみならず、学内にいる留学生へのOPIc日本語を活用した実態把握により、国内に居てのグローバル「つながり」を支援

4. OPI Tester vs OPIc Rater (参考資料)

OPI Tester: <https://www.actfl.org/professional-development/training-certification/how-become-certified-tester>



OPIc Rater: <https://www.actfl.org/professional-development/training-certification/opic-rater-certification>

- Pre-requisite for attending the Rater Training:
 - As a certified ACTFL OPIc Rater, you will rate OPIcs from your home computer. A high-speed (not dial up) connection is required. You will complete tests as an independent contractor and as assigned by the ACTFL's designee, Language Testing International (LTI).
 - **All OPIc Raters must have Superior-level proficiency in the language in which they will rate. If you are not a native speaker of the language, with all your higher education completed in the target language, then it will be required that you take a telephone OPI to establish your language proficiency. This will be arranged for you prior to attending the workshop.**
 - **Minimum of a Bachelor's degree from an accredited college or university.**
 - Teaching, testing, tutoring, writing, translating, copy editing or similar experience required.
- The Certification process:
 - **Rate practice round of 50 OPIc samples. Get official ratings and feedback.**
 - **Rate 20 certification round samples. No official ratings.**
 - Extra rounds given as needed.
 - Rater certified or retraining required.
- Awarding of certification:
 - OPIc Rater Certificate is issued.
 - **OPIc Rater Certification is issued for 4 years.**
 - Raters will be asked to participate in benchmarking and norming activities to maintain rating reliability.

一般社団法人Global8は、グローバルに通じる人材育成において、ACTFLに準拠した言語コミュニケーション力の評価をベースに、サービスを相互学習する法人です。

学会会員

ACTFL/OPI・OPIcをベースに

- ① 大学英語教育学会(JACET)
 - ② 全国英語教育学会(JASELE)
 - ③ 外国語教育メディア学会(LET)
 - ④ 一般社団法人日本外国語教育推進機構(JACTFL)
 - ⑤ 公益社団法人日本語教育学会
 - ⑥ グローバル人材育成教育学会(JAGCE)
- に加入し「つながり」に貢献します

日本語OPI研究会員からの
学会会員参加大歓迎！

<http://global8.or.jp/member.html>

企業会員

相互認証会員
賛助会員

- **試験風景(青山学院大学:英語)**
- **受験后感想(青山学院大学:他のスピーキングテストとの違い)**
- **OPIC日本語テスト導入部実演**
- **昨年度受験実績**



時間軸と空間軸を見据えたつながり
Global8 → ∞